

令和2年3月定例会 代表質問【質問者および質問項目】

質問日 令和2年3月12日(木) 質問者 5名

※質問時間は答弁時間を含めず、(基礎時間20分+会派構成議員数×5分)であり、会派ごとの上限は60分間です。

発言順位	議員名(持ち時間)	会派名	発言事項
1	中嶋 昭雄 (60分)	草政会	<p>○新型コロナウイルス感染症対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で発症が報告された場合の対策について <p>○橋川市長が進める草津のまちづくりについて</p> <p>1. 4期目で掲げられた市長の公約について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのマニフェストが本市のまちづくりにどのように活かされたかについて ・4つの政策を掲げられた思いについて ・タウンミーティングの実施について ・これまで同様にロードマップを掲げていくのかについて ・重視しなければならない政策について ・暮らしやすい都市とはどのようなことか。また、4年間でどのように実現していくのかについて ・活気があふれるとはどのようなことか。また、4年間でどのように実現していくかについて ・「災害に強い環境都市」とは、どのようなことか。また、4年間でどのように実現していくかについて ・不断の改革とはどのようなことか、また、4年間で改革していかなければならないことについて ・首長からの独立性を踏まえ、教育長としてどのように政策を実現していくかについて ・自治連合会の役割に対する認識と、問題解決方法について <p>2. 第6次草津市総合計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような政策を一番に仕掛けていく必要があるかについて ・12年間の基本構想に市長の政策をどのように位置付けていくかについて ・本市が持つ強みに関する認識と魅力的で持続可能なまちを目指すことについて ・147,000人の人口フレームを維持しつつ、持続可能なまちづくりを進めていく上で、必要な取り組みについて ・環状軸を補完する新たな軸の設定の考えについて ・基本構想の中で、重点分野をリーディング分野として位置付けられないかについて <p>3. 次期都市マスタープランと都市計画施設の整備などについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランで、向こう20年間の人口フレームをどのようにとらえているかについて ・都市機能の集積のためにどのような政策のもとに実施されているかについて ・各駅前の賑わいとランドデザインの形成について ・常盤、笠縫、山田、老上西の湖岸域などの課題に向けた手立てについて ・歴史的資産をうまく活用した地域経済の活性化について ・芦浦観音寺や野路小野山遺跡の資料館設置と整備に向けたスケジュールについて ・常盤、笠縫、山田、老上西をひとつのエリアとして、計画を取りまとめ、今後の地域再生に向けたまちづくりを考えられるかについて ・都市づくりにおける道路整備の必要性と道路整備計画を策定することについて ・周辺部の公共交通をはじめとする市民の移手段の確保を具体的にどのように実現していくかについて

発言順位	議員名(持ち時間)	会派名	発言事項
			<p>4. 令和2年度当初予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基金残高等をどのように分析されているか、また、今後のまちづくりへの投資についてどのような影響があるかについて ・どのようにリーダーシップを発揮し、令和2年度当初予算編成を行ったのかについて ・財政の硬直化に対し、今後、どのように対処していくかについて ・第3次草津市行政システム改革推進計画の次期プランをどのように進めていくのかについて <p>5. 烏丸半島の民間開発における市域全体の活性化等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の応募提案で、市としてどの程度の可能性があると見込んでいるかについて ・地域経済の活性化など、具体的にどのようにまちづくりを進めることができると想定しているかについて ・地域貢献などについて、どのような想定をされているのか、また、どのようなことが平均以上と想定されるかについて ・旧下物産業振興エリア24.9ヘクタールの土地利用が検討できないかについて ・湖岸緑地と連携した志那漁港と北山田漁港の利活用ができないかについて ・矢橋帰帆島に近江八景のひとつである「矢橋の帰帆」の再興を目指すなど、観光を活かした土地利用が出来ないかについて ・南湖横断軸の実現を図っていくことについて <p>6. 滋賀県との連携や広域連携の強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)草津市立プール整備入札の不調の原因と今後の対策について ・負担増額をどのように県と調整していくかについて ・(仮称)草津市立プール整備にかかる県の費用負担をどのような形で確実に担保していくかについて ・平野南笠線の今後の具現化の見通しをどのように認識されているか、また、どのように仕掛けて必ず実現していくかについて ・ハイウェイオアシス構想にかかる取り組みと実現していくうえでの課題、次年度以降の推進をどのように取り組んでいくかについて ・県による浸水想定区域図の改定を踏まえ、緊急性の高い一級河川の改修をどのように認識しているか、また、改修に向けてどのように仕掛けて実現していくかについて ・滋賀県警察官の増員と交番の新設について、市として、これらの実現に向けたロードマップをどのように描いていくかについて ・防犯ボックスの設置が出来ないかについて ・どのような分野で広域連携が可能と考えているか、また、その効果として想定できるのは何かについて ・さらなる広域連携の具現化に向けた体制について ・大津市や湖南市など湖南広域以外の連携について、その必要性や具体的な分野をどのように考えているのかについて <p>7. 働き方改革と組織改革等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市としてどの程度の削減が必要だと考えているかについて ・組織の統合も含めた令和2年度以降の組織機構について ・歴史文化財や生涯学習の分野を市長部局に移管することについて ・副市長について今後どのような体制で考えているかについて

発言順位	議員名(持ち時間)	会派名	発言事項
2	奥村 恭弘 (40分)	市民派クラブ	<p>○橋川市長の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な評価について ・市長任期4期目にあたり、これからの4年間、何に重点をおいて市政運営するのかについて <p>○次代(みらい)を見据えた政策の展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月からの消費税10%引き上げによる当初予算編成への影響について ・当初予算編成後に起こった新型コロナウイルスの日本経済全体への影響について、どのような認識か。また、当初予算にどのように影響するかについて ・基金のあり方について、また、今回の当初予算化がもたらす影響について ・「防災・安全のまちづくりの推進」について ・「教育の充実」について ・「子育て支援の充実」について ・「高齢者福祉の充実」について ・「スポーツ健康づくりの推進」について <p>○本市の抱える課題や重要な事象について</p> <p>議第24号令和元年度草津市一般会計補正予算(第6号)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「指定管理者による公の施設の管理に関する評価について」(意見具申)の時点で、収支のマイナスは常態化していなかったのかについて ・指定管理者制度ならびに指定管理者の選定が難しくなり、リスクヘッジの考えが必要になることについて ・令和元年度草津市一般会計補正予算に4,787千円が計上されたことについて、当該業者から回収が出来るかについて ・当該業者からの関係する下請け業者への補償や救済について <p>○「多文化共生社会の構築」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市が目指す「多文化共生プラン」はどのようなものになるかについて <p>○「公契約条例」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公契約条例」の研究会を設置し、既に策定された自治体の情報収集を行い、策定に向けた取り組みができないかについて <p>○「公施設の利用申し込み・予約のIT活用」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公施設の利用申し込み・予約のIT活用」を行い、利便性を図るためのシステムが構築できないかについて
3	西村 隆行 (30分)	公明党	<p>○市内の貸館における還付について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の還付10割決定の経緯について ・リスクマネジメントの観点からの統一した意思決定していく必要性について <p>○第6次総合計画策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次から第5次までの総合計画の評価について ・超高齢化を迎えることを踏まえた第6次総合計画はどのような計画でなければならないと考えているかについて <p>○SDGsの取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市行政のSDGsの取組が評価されている理由について ・市民と共に取り組むSDGsの実現について <p>○令和2年度当初予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健やかに幸せに暮らせるまち、ずっと住み続けたいまち草津」を達成するための当初予算編成について

発言順位	議員名	会派名	発言事項
4	藤井 三恵子 (30分)	日本共産党 草津市会議員団	<p>○国政の焦点と市民の命・暮らしに関わることについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治不信への対応について ・新型コロナウイルス肺炎の感染対策について ・消費税増税に関する見解について ・平和の問題について ・農政について ・気候変動の施策について ・ジェンダー平等について <p>○施政方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の課題について ・高齢者福祉について ・公共交通網の整備について ・防災・減災対策について ・教育行政について <p>○2020年度予算編成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政運営について ・中小企業支援について ・森林環境譲与税について ・後期高齢者医療制度の改善について ・介護保険について ・国保会計への新たな取り組みについて ・子育て支援について ・人権尊重のまちづくりについて ・国体に向けた施設整備について
5	八木 良人 (30分)	チャレンジくさつ	<p>○市政全般、オープンガバナンス、データに基づく政策立案(EBPM)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンガバナンス、オープンデータ・データに基づく政策立案について ・オープンガバナンス等の具体的施策が進みにくい現状について ・住みよさランキング、住みたいまちランキングの指標・評価について ・ICT関連の専門性の高い幹部職員の採用について <p>○財政について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政が厳しいことの要因について ・今後の見通しについて <p>○大型事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)草津市立プールの総事業費について ・総事業費の見込みについて ・計画変更の可能性について <p>○マンション問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンション等の集合住宅専門の担当課について <p>○社会的弱者に対する対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データと現状把握からのアウトリーチという取り組みについて ・各支援団体に対する行政支援について <p>○UDCBKの今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UDCBKを健幸都市くさつの中核施設にすること、健幸から本市をデザインすることについて <p>○本市の教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育の目的について ・教員への支援体制について ・プログラミング教育をなぜ学ぶのかについて ・親子におけるシビックプライドの醸成について <p>○橋川市政について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4期目としての橋川市長の草津市政にける決意について